

ヘルテル・ハーナウ市長記念演説（要約）



両市の姉妹都市提携協定書を締結するため、鳥取市を訪問できましたことを大変うれしく思っています。

1989年、鳥取市制100周年という記念すべき年に、当市で開催された鳥取世界おもちゃ博覧会にヘッセン人形博物館が人形を出展したことがきっかけとなり、それ以来、経済・文化・政治の面で数多くの深い友好関係が生まれました。1995年7月7日、鳥取世界おもちゃ館（わらべ館）が開館と同時にヘッセン人形博物館と姉妹館提携しました。このように生まれ育ってきました両市の関係は、本日、姉妹都市提携協定書に署名するはこびとなったことで、例えるなら、婚約から正式な結婚生活に入ったと言えるでしょう。グローバル化とIT化の発展により、距離的な隔たりはあまり意味を持たなくなっています。特に世界経済関係に関しては、経済と高度技術産業の都市であるハーナウ市と鳥取市にとって、国際的なネットワークの中での連携を強めるのは大切なことだと思います。この面からも、両市の姉妹都市提携は非常に重要な一歩を踏み出すことになることでしょう。

それとともに、両市の姉妹都市提携署名が、世界で指導的立場にある先進工業国であり、経済や文化などさまざまな面でのパートナーである日本とドイツ両国にとっても、日独外交関係をより強固にするものと期待しております。

西尾市長をはじめ、ご臨席のみなさん、これから一緒に歩む長い道が、活力と歓喜に満ち、幸運の星のもとに歩む道であることを私は固く信じています。そして市長として、すべてのハーナウ市民が私たちのまちを訪れる鳥取市民のみなさんを心から歓迎することをお約束します。



■わらべ館では園児たちが大歓迎



■バードスタジアムではボールを・・・



■新たに設置されたハーナウ市ブース



■湖山池公園での記念植樹



■環境大学で鳥取の環境教育の現場を視察